

4. 事後調査の結果

(1) 事後調査の結果の概略

令和元年度は、5街区において千客万来施設5街区駐車場棟建設工事（土工事・基礎工事）および場外マルシェ（暫定施設）建設工事を実施した。事後調査の結果は、表-2 に示すとおりである。

表-2 事後調査の結果

事後調査項目		事後調査の結果の概略
廃棄物	建設発生土及び建設廃棄物の排出量	令和元年度の調査結果では、建設廃棄物の発生量は少なく、再利用・再資源化率も土工事及び地下部分の建築工事の廃プラスチック類でわずかに上回るのみであったが、経年累積量では、評価書の予測より、発生量が多く、再利用・再資源化率が下回る廃棄物の種類も存在した。しかし、適切に分別を行うなど必要な措置が講じられているほか、発生量全体では当初予測された再利用・再資源化率を上回っていること、建設混合廃棄物の再利用・再資源化率においては当初予測を大きく上まわっていることから、評価の指標とした「廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に示される「事業者の責務」に基づき廃棄物の抑制を図る」を満足していると考え。今後、東京都建設リサイクル推進計画で示された目標値を参考にしながら、引き続き発生抑制と再利用・再資源化に努めるものとする。
その他（環境保全のための措置の実施状況）		<p>○大気汚染 評価書に記載された大気汚染に関する環境保全のための措置について、排気ガス対策の建設機械を使用する等、適切に実施した。</p> <p>○騒音・振動 評価書に記載された騒音・振動に関する環境保全のための措置について、低騒音・低振動型の建設機械の使用等、適切に実施した。</p> <p>○土壌汚染 評価書に記載された土壌汚染に関する環境保全のための措置について、汚染された土壌の飛散防止措置として運搬車両のシート掛け等、適切に実施した。</p>